

株式会社 REC

エコアクション21

《対象期間2025年1月～2025年12月》



環境省
エコアクション21
認証番号0009922

環境経営レポート

2025



発行日 2026年2月1日

目次

★Plan(計画の策定)

1. 組織の概要
2. 認証・登録の範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画

★Do(計画の実施)

- 6-1環境計画に基づき実施した取組内容
- 6-2実施体制図

★Check(取り組み状況の確認及び評価)

- 7-1.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価
- 7-2.次年度の環境経営目標及び経営計画
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

★Act(全体評価と見直し)

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

- 《事業者名称》 株式会社 REC
- 《代表者》 代表取締役会長 有明 芳 男
- 《所在地》
- ◆本 社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-3
ステーションプラザタワーアネックスウエスト
 - ◆東京本店 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-46-2
 - ◆名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-11日新火災名古屋ビル
 - ◆大阪支店 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-6-6 カーニープレイス西本町
- 《設立年月日》 創 業 : 1984年 2月 1日
- 《資本金》 9,500万円
- 《事業内容》 総合設備工事業
・許可:建設業
- | | |
|---------------------|---------|
| 国土交通大臣許可(特-2)10783号 | 管工事業 |
| 国土交通大臣許可(般-2)10783号 | 電気工事業 |
| 国土交通大臣許可(般-2)10783号 | 消防施設工事業 |
| 国土交通大臣許可(特-2)10783号 | 建築工事業 |
- 《環境管理責任者》 氏名: 田中 精一
- 《連絡担当者》 EA21事務局
- 氏名: 藤原 奈美
TEL: 03-5814-1240
E-mail: n-fujiwara@rec-s.co.jp
- 《事業の規模》
- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| ◆年間工事高(2025年12月期) | 4,466,612千円(全社) |
| ◆工事件数(2025年12月期) | 1,028件(全社) |
| ◆事務所(本社・3支店)(2025年12月31日現在) | 1,028.45㎡(全社) |
| ◆全従業員(2025年12月31日現在) | 99名(全社) |

2. 認証・登録の範囲 レポートの対象期間及び発行日

- 《登録組織名》 株式会社 REC
- 《登録の範囲》 全組織・全活動・全従業員
- 《対象期間》 2025年1月1日～12月31日
- 《発行日》 2026年2月1日

環境経営方針

【基本理念】

株式会社 REC は、総合設備工事会社として、
お客様に安心・安全とより良い環境を提供し、社会に信頼される企業を目指しております。
同時に、携わる仕事の中で、環境に配慮したシステムの提案、
施工方法の構築に取り組む事が重要であると考えています。
このような認識のもと、地球にやさしい環境の創造と地球環境に配慮し、
住みよい地域社会実現のために社会的責任を果たし、
持続的な発展が可能な社会づくりに継続して、貢献いたします。

【SDGs宣言】



株式会社RECは、総合設備工事とEA21の活動を通してSDGsの推進に取り組むことで
持続的な社会の実現を目指して参ります。



5. ジェンダー平等を実現しよう



6. 安全な水とトイレを世界中に



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに



8. 働きがいも 経済成長も



13. 気候変動に具体的な対策を

【行動指針】

1. 総合設備工事を通して、環境負荷の低減に向けて組織的に取り組みます。
2. 環境に配慮した工法を提案します。
3. 環境関連法規等を遵守します。
4. 化学物質の適正管理に努めます。
5. 環境経営方針を文書化し、従業員に周知徹底します。
6. 環境への取り組みを環境経営レポートにして公表します。



【改定日】2025年4月1日

株式会社 REC
代表取締役会長

有明芳男

4. 環境目標(排出量及び原単位)

《環境目標(排出量及び原単位)》

(表-1)

		基準年度	短期目標	中期目標
		2024年1月～	2025年1月～	2028年1月～
		2024年12月	2025年12月	2028年12月
電力使用量削減	CO2排出量(kg-CO2)	39,522	39,000	39,000
	kg-CO2/床面積㎡	38.4	37.9	37.9
	削減目標		現状維持	現状維持
ガソリン使用量削減	CO2排出量(kg-CO2)	24,725	24,725	24,725
	削減目標		現状維持	現状維持
廃棄物排出量の削減(一般)	排出量(kg)	3,145	4,000	4,000
	kg/人	37.0	54.1	54.1
	削減目標		(2023年の値を目標とした)	現状維持
産業廃棄物の削減(産廃)	排出量(kg)	174,122	170,000	170,000
	kg			
	削減目標		現状維持	現状維持
水道使用量削減	水道使用量(㎡)	737	600	600
	㎡/人	12.3	10.0	10.0
	削減目標		現状維持	現状維持
環境に配慮した施工方法の提案	件	34	35 件	35 件
	増加目標		受注金額に応じた実績達成	受注金額に応じた実績達成

※化学物質については使用していない為、除外と致します。

※ガソリン使用量・産業廃棄物に関しては受注現場の所在地により変動するため、目標設定はなし(基準年と同じ)としてい

《二酸化炭素排出量の目標(総量)(単位:kg-CO2)》

(表-2)

		基準年度	短期目標	中期目標
		2024年1月～	2026年1月～	2028年1月～
		2024年12月	2026年12月	2028年12月
二酸化炭素排出量削減		64,247	63,725	63,725
			現状維持	現状維持
	電力使用量削減	39,522	39,000	39,000
燃料使用量削減(ガソリン)		24,725	24,725	24,725
			基準年と同じとする	基準年と同じとする

(注) 購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

2023年度実績値(2025年3月18日公表)

店名	排出係数	電気事業者名
本社	0.318kg-CO2/kWh	東京ガス株式会社
東京本店	0.318kg-CO2/kWh	東京ガス株式会社
名古屋支店	0.393kg-CO2/kWh	中部電力ライズ株式会社
大阪支店	0.401kg-CO2/kWh	関西電力株式会社

5. 環境経営計画

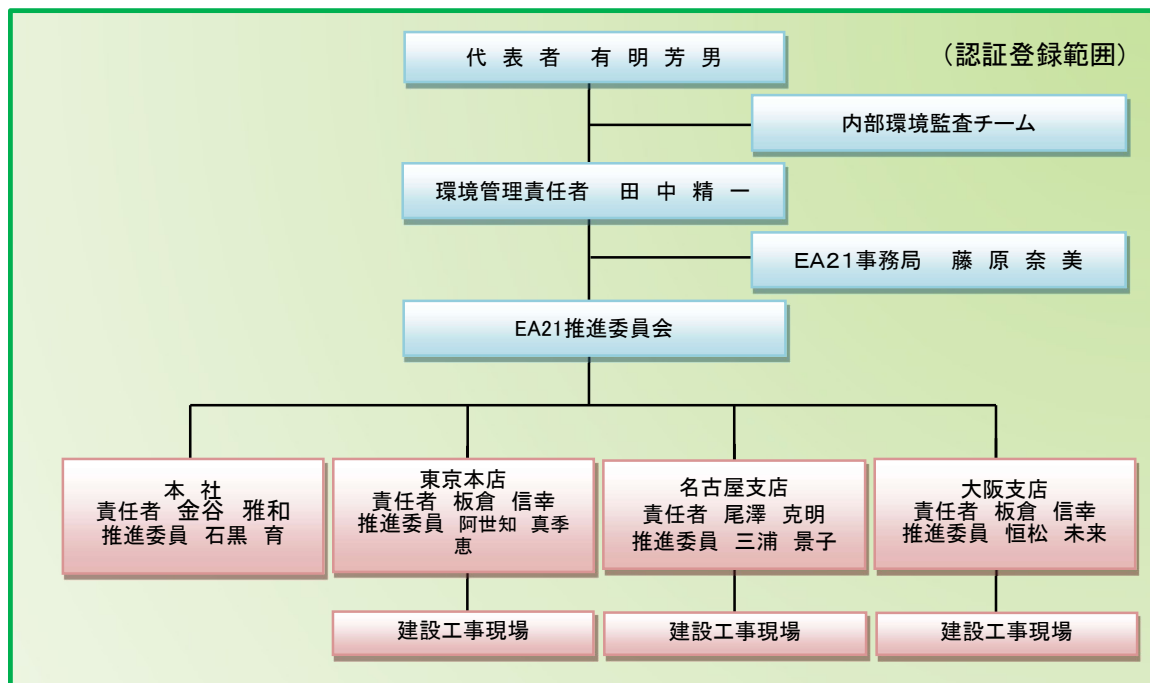
6-1. 実施した取組内容

(表-3)

環境経営計画	実施した取組内容
<p>二酸化炭素排出量削減(電気)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昼休みの消灯 ② エアコンの適正温度(冷房:28℃ 暖房:20℃) ③ クールビズ・ウォームビズ運動 ④ OA機器の節電モード ⑤ 温水洗浄便座の温度設定 	<p>クールビズ、ウォームビズの推進</p> <p>事務所LED化</p> 
<p>二酸化炭素排出量削減(ガソリン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通機関を積極的に利用 ② 不要なアイドリングをしない ③ 遠距離以外は給油は1/2とする。 ④ 定期的な車両の点検 ⑤ 不要な荷物は積まない 	<p>昼休みの消灯</p> <p>エコカーの活躍</p> 
<p>総排水量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 手洗い時の節水 ② 締め忘れ防止 ③ 節水ゴマの設置 	<p>節水ゴマの設置</p> <p>書類のデジタル化</p> 
<p>廃棄物排出量の削減(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 書類のデジタル化 ② 両面コピーの励行 ③ コピー用紙の片面印刷物の再利用 ④ コピー機は使用後は節電モードにする 	<p>荒川区エコフワード事業者の認定</p> <p>デジタル化の推進 進めよう! 3つの“脱”</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱ペーパー 脱ハンコ 脱現金 
<p>混廃率を減らし、再資源化率を上げる(産業廃棄物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保存書類を契約倉庫に委託する ② 元請工事での分別、再利用、再資源の推進 ③ 建設産業廃棄物の適正処理 	
<p>環境に配慮した施工方法の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 施工検討会の実施 ② 技術発表会にて改善事例報告 	
	<p>従業員への環境方針カード・SDGsバッジ配布 で意識向上</p>

6-2. 実施体制図/責任と役割及び権限

《体制図》



《責任と役割及び権限》

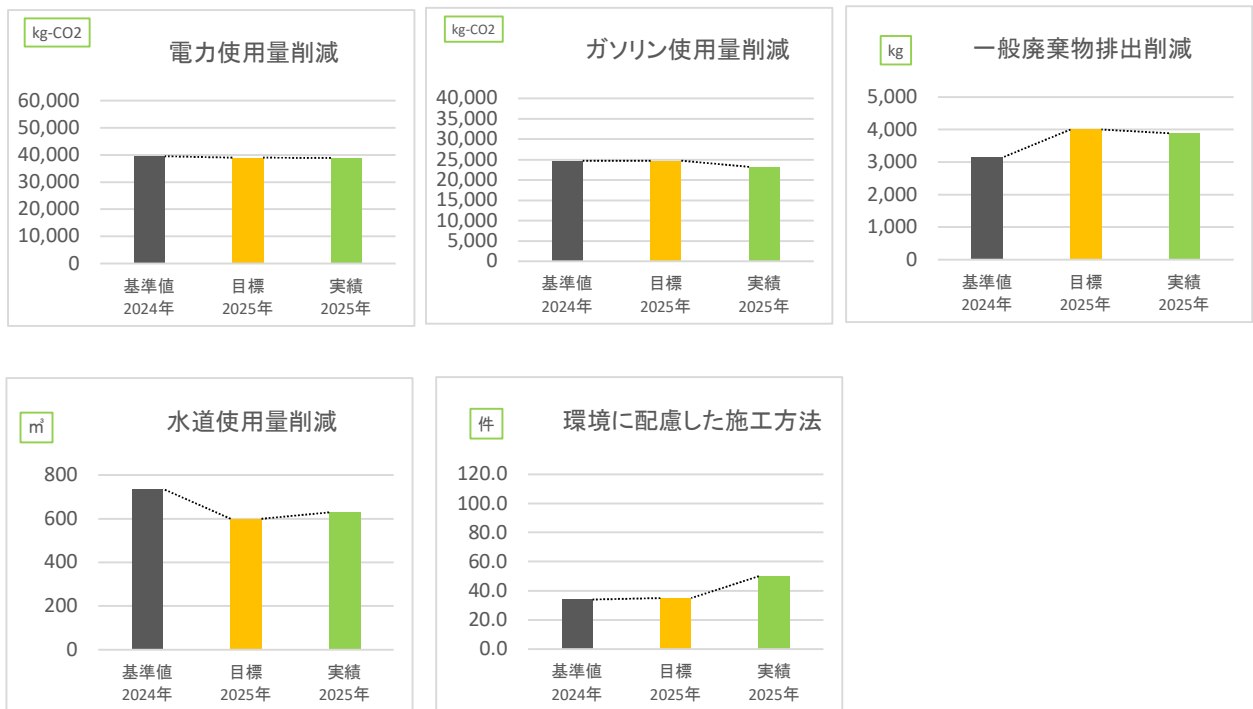
担当者	責任と役割及び権限
代表取締役 有明 芳男	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ● 経営資源の準備 ● 全体評価と見直しを実施 ● 環境経営レポートの承認
内部環境監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 各支店の活動内容が、環境経営方針、環境経営目標の達成に適切かを検証。 ● 内部環境監査結果報告書を作成しEA21推進委員会へ報告。
環境管理責任者 田中 精一	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営システムの構築・実施・管理 ● 法規制等の取りまとめ ● 環境経営レポートの確認 ● 環境活動取組に結果を代表者へ報告
EA21事務局 藤原 奈美	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ● 環境経営レポートの作成 ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境経営レポートの作成・公表(事務局に備付けと地方事務局への送付)
各店責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者への支援 ● 環境経営計画表への定期的な評価・指示 ● 環境教育訓練の作成・実施 ● 環境教育訓練計画書・手順書の作成及び管理 ● 外部からの問題点に対する対応
EA21推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境経営方針への理解と取組みへの自覚 ● 従業員に対する環境教育訓練の実施 ● 問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ● 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

7-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果の評価

①環境目標及びその達成状況（期間：2025年1月1日～12月31日）

（表-1）

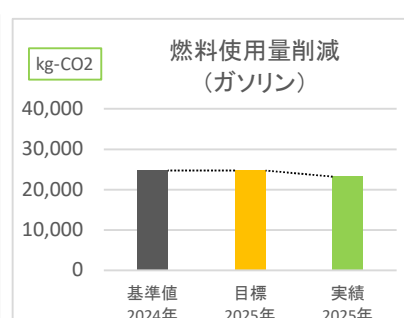
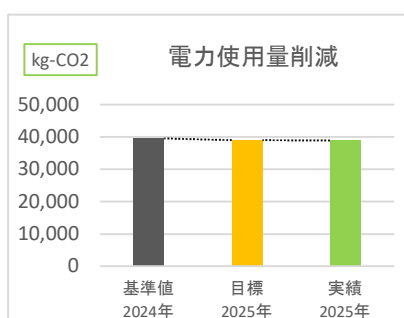
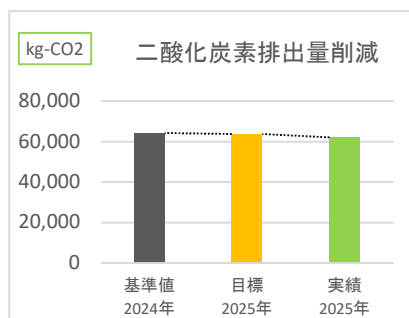
		基準値	目標	実績	要因と評価
		2024年	2025年	2025年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
電力使用量削減	CO2排出量 (kg-CO2)	39,522	39,000	38,871	2025年の4月から9月にかけて一番人数の多い東京本店の電気を蛍光灯からLEDへ変えたため、9月以降の使用量が減った。気候の影響（空調の使用状況）などにもよるが2026年も一定の効果は出るのではないかと。
	kWh/床面積 m ²	38.4	37.9	37.8	
	増減率			98.4 %	
ガソリン使用量削減	CO2排出量 (kg-CO2)	24,725	24,725	23,214	昨年より受注現場により数字が変動するため目標設定はなしとした。車ではなく、公共交通機関の利用など節約行動を継続している。その結果、2024年と比べ若干減少した。
	増減率			93.9%	
一般廃棄物排出量の削減	排出量(kg)	3,145	4,000	3,886	東京本店の大規模改修、各店のリニューアル工事に伴う片付けにより目標年(2025年)よりも排出量が増えたが、社員数も増えたため増減率では目標達成することができた。
	kg/人	37.0	54.1	54.0	
	増減率			99.9 %	
産業廃棄物排出量の削減	排出量(kg)	174,122	170,000	60,005	昨年より受注現場により数値が変動するため目標はなしとした。元受け現場の減少により排出量が大幅に低下した。廃棄物の設置状況や分別状況について内部監査を実施しており、資源の再利用の促進に少しでも貢献したいと考えている。
	増減率			35.3%	
水道使用量削減	排水量(m ³)	737.0	600.0	629.0	東京本店の大規模改修に伴いトイレを節水タイプにしたことにより8月から使用量が昨年比で1/2～1/3程度となっている。2026年は通年通しての数値となるためさらなる効果が期待できる。
	m ³ /人	12.3	10.0	10.5	
	増減率			85.4 %	
環境に配慮した施工方法の提案	件	34	35	50	昨年より評価基準を変更して、環境効果のある提案に定義を変更した(基準変更により目標は未設定)。受注金額に応じた目標は達成していきたい。



(表-2)

	基準値	目標	実績	要因と評価
	2024年	2025年	2025年	
	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO2)	64,247 100 %	63,725 100.0 %	62,085 96.6 %	下記の要因により電力・ガソリンともに基準値を下回る結果となった
電力使用量削減 (kg-CO2)	39,522 100 %	39,000 98.7 %	38,871 98.4 %	2025年の4月から9月にかけて一番人数の多い東京本店の電気を蛍光灯からLEDへ変えたため、9月以降の使用量が減った。
ガソリン使用量削減 (kg-CO2)	24,725 100 %	24,725 目標設定はないため、 基準値と同じとする	23,214 93.9 %	昨年より受注現場により数字が変動するため目標設定はなしとした。車ではなく、公共交通機関の利用など節約行動を継続している。その結果、2024年と比べ若干減少した。

(注)購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数



7-2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(表-1)

		基準値	目標	次年度環境経営計画
		2024年	2026年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
電力使用量削減	CO2排出量 (kg-CO2)	39,522	39,000	①昼休みの消灯 ②エアコンの適正温度 ③クールビズ・ウォームビズ運動 ④OA機器の節電モード ⑤温水洗浄便座の温度設定
	kWh/床面積 m ²	38.4	37.9	
	増減率		98.7 %	
ガソリン使用量削減	CO2排出量 (kg-CO2)	24,725	24,725	①公共交通機関を積極的に利用 ②不要なアイドリングをしない ③遠距離以外は給油は1/2とする ④定期的な車両の点検 ⑤不要な荷物は積まない
	増減率		100.0 %	
一般廃棄物排出量の削減	排出量(kg)	4,000	4,000	①書類のデジタル化 ②両面コピーの励行 ③コピー用紙の片面印刷物の再利用 ④コピー機の使用後は節電モードにする
	kg/人	54.1	54.1	
	増減率	(2023年の数値)	100.0 %	
産業廃棄物排出量の削減	排出量(kg)	174,122	170,000	①保存書類を契約倉庫に委託する ②元請工事での分別、再利用、再資源の推進 ③建設産業廃棄物の適正処理
	増減率		97.6% %	
水道使用量削減	排水量(m ³)	737.0	600.0	①手洗い時の節水 ②締め忘れ防止 ③節水ゴマの設置
	m ³ /人	12.3	10.0	
	増減率		81.4 %	
環境に配慮した施工方法の提案	件	34	35	①施工検討会の実施 ②技術発表会にて改善事例報告
	増減率			

※期間における二酸化炭素排出量の目標と実績 (排出量)

(表-2)

	基準値	目標	次年度環境経営計画
	2024年	2026年	
	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO2)	64,247 100 %	63,000 98.1 %	上記記載通り
電力使用量削減 (kg-CO2)	39,522 100 %	39,000 98.7 %	上記記載通り
ガソリン使用量削減 (kg-CO2)	24,725 100 %	24,000 97.1 %	上記記載通り

(注)購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

(表-1)

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の委託契約書及び業者の許可内容が適正である事の確認及び許可証の写し保管 ・最終廃棄物の削減 ・マニフェスト票による管理 	適正処理
建設工事に係る資材の再資源化に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃業者を通じて分別、再資源化 	適正処理
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質等の危険有害性等の調査 	適正処理

《違反・訴訟等の有無》

環境関連法規への違反・訴訟はありませんでした。

また、過去3年間にわたり、関係機関からの違反指摘等はありません。

外部からの環境に関する苦情や要望は特にありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2013年から取り組んでいるEA21は、10年以上の年月を経て、従業員にすっかり定着した活動となっています。しかし一方で、削減目標が限界値に近づき、取り組みが形式化し、やや惰性的になっている面も見受けられます。

このような状況を改善するため、昨年、環境委員の任期制を導入し、メンバーを刷新しました。また、全社員の積極的な参加を促進するため、環境ニュースの発行頻度を従来の隔月から毎月に変更しました。これにより、情報共有が活発化し、社員一人ひとりの環境意識の向上を目指しています。さらに、一昨年に導入した「環境に配慮した施工方法の提案」は、元請工事において具体的な環境効果を生む提案が実現し、一定の成果を上げています。

各支店の状況を詳しく見ると、名古屋支店ではペーパーレス化が大きく進展し、ゴミ削減に大きな効果を上げています。この取り組みは、社内での成功事例として、他の支店にも積極的に共有し、横展開を図りたいところです。

また、東京本店では、2025年度に実施したオフィス改修工事において、「オフィス照明のLED化」「トイレ自動水洗付き手洗い器の導入」「トイレ照明への人感センサー設置」を行いました。これらの取り組みにより、今後大きな省エネルギー効果が期待され、持続可能なオフィス環境の実現に寄与するものと考えられます。

取り組みを継続しつつ、今後必要に応じて、環境経営方針、体制、目標の見直しを検討して参ります。